

大学名	大阪大学		
University	Osaka University		
学部/研究科	工学研究科		
Faculty/Department	Graduate School of Engineering		
研究指導者	澤木昌典	職名	教授
Research Advisor	Masanori Sawaki	Position	Professor
帰国留学生	張 瀟		
Former International Student	Zhang Xiao		
派遣期間	2017年9月10日 ~ 2017年9月17日 (8日間)		
Period of Stay	8 days (Sep. 10, 2017 - Sep 17, 2017)		

<帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	中国
Nationality	People's Republic of China
所属機関	中国鉱業大学
Affiliation	China University of Mining and Technology
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	都市計画
Major Field	Urban Planning



青島の歴史的市街地での研究指導
Study guidance at a historical district in

<研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

①研究指導概要 / Outline of Research Guidance
<p>帰国留学生の研究対象地であった青島市に出かけ、出身校である青島理工大学芸術学院の李曉紅主任とともに、再開発地区ならびに再開発事業を開始した地区を視察・調査し現状を把握し、合わせて李主任ほかの教員陣と歴史的環境の保全についてセミナー形式で意見交換を行った。帰国留学生が講師としての所属する中国鉱業大学においては、帰国留学生の現在の研究課題である伝統的農村の保全について、対象地区を視察するとともに、林祖銳教授や学生とともに研究セミナーを開催し、意見交換を行い、これらをもとに今後の研究発展の方向性やとくに英語論文の投稿について指導・助言した。また、中国鉱業大学建築と設計学院のLuo(四の下に夕)萍嘉院長および常江副院長と今後の交流協定の締結に向けて相談した。また、両大学で200~230名の学生を対象に「日本における歴史的環境の保全とまちづくり」について講義を行い、歴史的環境の保全の重要性を教授するとともに多くの質疑応答を行った。</p>
②研究指導の成果 / Results of Research Guidance
<p>研究指導の成果は、大きく3点に整理できる。1点目は帰国留学生の学位論文の研究対象地であった青島市の歴史街区において、政府の再開発事業が新たな段階に進捗しつつあるので、その状況を加味しつつ継続研究の方向性や方法について指導したこと、2点目は中国鉱業大学において所属研究室が取り組んでいる伝統的農村の整備・活性化に関するプロジェクトに関連して研究テーマをどのように設定し今後の成果としていくのかの方向性について指導したこと、3点目は帰国留学生の研究力の向上のため、英語論文の投稿に関して適したジャーナルの紹介や在学時には習得できていなかった多変量解析などの分析方法について具体的に教示・指導したことである。帰国留学生は、現在講師であり、今後副教授、教授へとステップアップしていくには、研究業績、とくにサイテーション付きの英語論文を多数発表していくことが望まれ、今回の上記3点からの指導はこれらに役立つもので、適時かつ適切な指導機会を与えていただいたことに感謝する。</p>
③訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.
<p>3日目に、青島理工大学芸術学院において、約230名の学生（10名程度の教員陣含む）を相手に「日本における歴史的環境の保全とまちづくり」について特別講義を行うとともに、その質疑応答の中で大阪大学における教育事情について情報提供を行った。その後、教員7名・学生約15名と研究セミナーを開催し、歴史的環境の保全や日本の大学の教育事情に関して紹介し意見交換を行った。</p> <p>5日目に、中国鉱業大学建築と設計学院において、約200名の学生（数名の教員含む）を相手に、同じく「日本における歴史的環境の保全とまちづくり」について特別講義を行うとともに、講義終了後にとくに日本留学への関心が高い10名程度の学生と別室でセミナー形式で質疑応答を行い、大阪大学における教育事情について情報提供した。また、同学院のLuo(四の下に夕)萍嘉院長および常江副院長と大学間の学術交流について話し合い、今後の部局間学術交流協定の締結に向けて検討を開始することとした。</p> <p>7日目には、中国鉱業大学建築と設計学院において、林祖銳教授が実施中の伝統的農村保全のためのプロジェクトについて、Luo院長を含む学生約20名を交えて研究セミナーを開催し、学生の調査結果中間報告に対して、日本や韓国での保全・活性化事例を紹介しつつ活発な意見交換を行った。また、帰国留学生の上司である林教授とは大学間の学術交流について、個別に意見交換をした。</p> <p>とくに、特別講義は、両大学とも200名以上の学生が参加する大教室での講義となり、熱心な受講態度とともに、質疑も活発であった。また、日本の大学への留学を希望する学生も多く、留学に関する質問も多く出された。中国鉱業大学での学生へのセミナー形式での質疑には、徐州市内の他大学（江蘇師範大学）の学生も参加しており、熱心に質問をする姿が印象的であった。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

青島歴史街区の再開発に関する新たな問題点を把握し、今後研究の方向性が明らかになった。中国農村の保全と活性化に関する研究について、日本での分析方法を理解するとともに新たな視点から問題意識を高めることができた。日本農村の保全開発に関する仕組みと方法を理解し、国際比較研究の課題を見つけた。

②今後の計画 / Further Research Plan

博士論文に基づき、青島歴史街区の変化を把握し、新たなデータを加え青島歴史街区に関する本を出版する。現在参加している農村調査プロジェクトの資料をまとめ、日本の経験に学びつつ報告書を作成する。日本農村景観に関する分析方法を学び、農村に関する問題点を明らかにするとともにレベルの高い論文を投稿する。

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

現在の日本の都市計画の研究に関する新たな分析方法を学ぶことができ、自分の研究の方向性がみえてきたことが嬉しかった。国際共同研究の共通点を探ることができ、大学間連携の共同研究や教育推進の一步を踏み出したので、今後の交流の進展が楽しみである。



青島理工大学での講義風景
Lecture at the Qingdao Polytechnic University



中国鉱業大学でのセミナー風景
Seminar at the China University of Mining & Technology



青島理工大学で教員と交流
Intercommunion with teachers at the Qingdao Polytechnic University



中国鉱業大学で教員・学生と交流
Intercommunion with teachers and students at the China University of Mining & Technology